

平成29年度 第1回学校評議員・学校関係者評価委員会の実施報告

1 日時・出席者

日時 7月18日（火）午後3時30分から午後5時まで開催。

出席者 学校評議員2名，学校関係者評価委員3名，本校職員8名が出席。

2 学校概要説明

最初に校長から，3つ(①松高セミナー・放課後補習②総合的な学習の時間PK③特別活動)の改革に生徒・教職員が一丸となって取り組んでいること，最近のトピックスとして，小松島歴史クラブが「NIPPON探究スクール事業」に認定されたことや新たな学びとして「全校一斉生徒授業」を行ったこと，また地元の中学生に魅力のある学校づくりと広報活動に努めているものの，いくつかの課題もある旨の説明がなされた。

その後，教務課長から幅広い学力・多様な進路に対応する平成30年度入学生教育課程の見直しを行ったこと，進路指導課長から昨年度の進路状況，松高セミナーや補習の改善，キャリア教育をとおして進路意識の早期確立に努めていること，生徒教育課長から「いじめの認知」について学校いじめ防止基本方針の見直しを検討していること，自転車の接触事故防止や携帯電話・LINE等の適正な使用について根気強い指導を行っていること，特別活動主任から学校行事，部活動やボランティア活動等に生徒が主体的に取り組んでいることの説明があった。

続いて，教頭から学校評価計画について説明し，学校評価推進委員長から学校評価総括評価表について説明した。

3 質疑・協議

(1) 生徒の主体性を引き出す取組について

- ・様々な行事を生徒が自主的に主体性を持って取り組んでいるのはよい。
- ・高校生のリーダーシップは，中学生には魅力的で憧れる。「全校一斉生徒授業」のような新しい取組や松高祭など，どんどん新しい切り口で生徒の積極性やリーダーシップを伸ばしてほしい。

(2) 生徒への生活指導について

- ・自転車のヘルメットの着用について，県の条例や高校での取組を聞くと，中学校での徹底した指導の必要性と中・高間の連携の必要性を感じた。
- ・自殺の多い時期に面談週間を設定しているのはよい。続けてほしい。

(3) 地域に根付いた学校づくりについて

- ・「全校一斉生徒授業」を参観したが，生徒はとても生き生きとしていた。今回の取組や松原の育樹ボランティア活動など「広報活動」をこれからも市内の中学校にどんどん発信してほしい。中学校側も地元高校の魅力を伝えていきたい。

(4) 質問事項として

- ・「全校一斉生徒授業」を実施しようと思ったきっかけとその成果について
 - ・松高セミナーで「朝の読書」を取り入れた理由について
 - ・放課後の補習時間割をやめた理由について
- 上の3つの質問があり，校長が説明した。